

同封した女性の会「すまいる」で
毎月開催の子ども食堂の様子を
お伝えしています

見てね！

女性の会では、毎月子ども食堂を開催しています。
次回は8月4日に開催します。(その次は9月29日の予定)
フードロスをなくすため、予約制にしています。
豊島支部のホームページから予約をお願いします。
16時から、30分刻みで予約できます。

<https://doken-toshima.jp/>

けんせつ北部

(購読料は組合費の中
に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

各分会とも盛大に開催

住宅デー

第48回

6月初旬の2週に分けて開催した豊島支部の住宅デーは、両日とも好天に恵まれ、仲間同士の結びつきを生かした楽しいイベントを各会場で開催しました。6会場での合計来場者数は約1100人で、住宅相談は15件、そして包丁とぎは370丁の利用がありました。地域に根差した取り組みは、多くの仲間の参加とご来場の方々のお陰で、とても意義のある催しとなりました。



かなめ



さくら



上池袋本町



池袋



椎名町



南池袋

数年ぶりの公園での開催

かなめ
分会

原田陽弘支部教宣部長

6月8日(日)、千早フラワー公園にて第48回かなめ分会住宅デーを開催しました。数年ぶりの公園での開催です。今回は、初参加で9群の西村さん夫妻や12群の青木さんが来てくれました。

青木さんは、住宅デーを通じて、組合や地域の方々と懇親ができたことから、今後も地域や組合の仲間たちに貢献で

きるよう、活動をして行く事の大切さを改めて実感したとのことでした。青木さんは、不動産の営業業務が専門とのことですが、大工技術や知識に興味があり、先般土建の新聞で、技術研修センターで学べる機会がある事を改めて知り、スタッフも丁寧に対応してくれて、学びのチャレンジを検討しているとのことでした。

当日、朝は曇り空でしたが段々と晴れて来ました。出し物は、①住宅相談②包丁研ぎ③まな板削り④子ども工作⑤コッパタイ⑥モザイクタイル⑦トレカコーナー(将棋)です。

10時から始まったのですが、人もまばらでどのコーナーものんびりしていました。昼頃になるにつれ、来場者も増えていき、工作やコッパタイ、モザイクタイルに親子が訪れて来ました。無料配布の風船は子供に人気で、風船を欲しがる子が沢山いました。

都議会議員の米倉春奈さんや、かなめ分会の上西さんが車椅子で母親をつれて来てくださいました。決して大盛況とは言い難いですが、支部で開催した時よりも騒がしい住宅デーになりました。「来年も公園でしょう」という意見も出ました。初めましての方や、普段中々会わない方との交流もあり、大成功だったと思います。終了後には、千川駅前安曇野で反省会を兼ねて打ち上げを行ないました。



住宅相談を担当する青木さん

分会内の会社から 3人の仲間が初参加

さくら
分会

野本陽子教宣部員

さくら分会では、第48回住宅デーを6月1日(日)に、染井まちづくりセンターで開催しました。

包丁研ぎ、まな板削り、子ども木工教室ではコッパタイと小物入れ作りをしました。

会場では、食品の扱いが禁止されているので、いつものホットドッグやお好み焼きなどの定番の催しが出来ず残念でした。

スタッフは、現地に9時に集合、10時に受付開始としました。今年は近隣の小学校の運動会があったためか、人出は少なめでした。

始めて参加した仲間たちが、それぞれの持ち場で大活躍してくれました。

今回の住宅デーには、宮島分会長が社長を務める株式会社宮島組の社員さんが3人も参加してくれました。大橋俊也さんは、子ども木工教室で、子どもたちと小物入れを作りました。子どもが作業中は見守りながら、一緒に作るように心掛けたそうです。保坂直之さん、寺田等さんは包丁とぎを手伝ってくれました。普段とは違う日曜日を、色んな職業や年齢の方々と過ごすのも良い体験だと感じたそうです。夕方からは、打ち上げで中華料理屋へ行き、三人とも美味しく楽しく飲食したそうで、また機会があれば、他のイベントにも、そして来年の住宅デーにも参加したいと思って頂けたとのことでした。



後列右端から大橋さん、保坂さん、寺田さん

盛りだくさんの住宅デー

上池袋
本町分会

大嶋清子 教宣部員

第48回上池袋本町分会住宅デーを6月1日(日)に、上池袋くすのき公園にて10時より開催しました。協力団体は、豊島平和委員会、豊島新婦人、区療生協、茜舞、区労協でした。

晴天に恵まれ早朝から準備に取りかかりました。一週間前には学校、地域にチラシ配布のお願いに回りました。

住宅相談5件、包丁研ぎ106丁、平和写真展、教育相談2件、習字あそび4人、新茶の販売、万華鏡28本、大人の木工教室1人、子供工作小物BOX35人、モザイクタイルコップ29人、パザー、綿菓子、ポップコーン、カレーコーナー、署名コーナー、募金金額は4,375円でした。

スタッフは組合員18人、家族8人、その他24人の参加でした。初参加の5郡の久米田さんは、住宅デー実行委員長を引き受けてくれました。また、8郡の奥田さんは、包丁研ぎに一生懸命頑張ってくれました。

来場者は、約180人で近隣の小学校2校が運動会だった為、子供が少なかったのが残念でした。



受付で対応する宮本執行委員長

分会センター駐車場で
開催も活気ある住宅デー池袋
分会

白井理八 通信員

今年の住宅デーは毎年使っている池袋第二公園が先約があり使えなかったため、分会センターの駐車場に会場を移しての開催となりました。普段はセンター上階に住む方の駐車場としても使われていますが、快く場所を提供してもらえ、狭いながらも包丁砥ぎのスペースは十分に確保できました。

昨年に引き続き上池袋本町分会より青山氏に包丁砥ぎをお手伝いいただき、また2週間後に都議選を控えた米倉春奈都議にも訪れていただき、活気に溢れた住宅デーとなりました。住宅相談件数も一軒あり、包丁砥ぎは22本でした。

昨年は包丁取り違いといった不慮の出来事がありました。が、それを教訓として更なる防止策を講じ臨みしましたので、緊張の中でも安心感を持ちながら和やかなまま無事終了しました。そして砥ぎ手不足の問題など課題が残りました。また次回を見据え課題克服に取り組みたいです。



遊びに来てくれた米倉さんを囲んで

大成功の住宅デー、
間髪入れず次のイベントを計画し
分会の力を高めたい椎名町
分会

田中承宏 教宣部員

6月1日(日)、椎名町公園で第48回住宅デーを開催しました。

今回も日産自動車、トヨタ自動車、東都生協などの外部団体にも参加してもらい各ブースを展開、椎名町分会からも30人以上が参加して工作、包丁研ぎ、住宅相談や焼きそば・フランクフルトなど多くのブースを展開しました。

700人以上の来場があり、用意した部材や飲食物はほぼすべて完売しました。工作は午前中、フランクフルトは昼頃には完売してしまいました。焼きそばは過去最高の270食を売り上げ、休む暇もないほどの盛況でした。落書きカーも前年以上の成果、東都生協は10件の成約、住宅相談も4件の相談があり、東京土建を地域にアピールするという目標は大きく達成することができました。

さらに特筆すべきは、ベテランの組合員から青年後継者世代、女性の会や住宅デー初参加者もいて全世代が活躍したことです。住宅デーを通じて、組合の楽しさや分会の結束を高められた意義は大きく、今後に向けて大きな収穫になりました。この成功体験は必ず分会活動を活気づかせプラスに働きます。間髪入れずに次のイベントを計画し、分会の力を高めていきたいと思います。参加された皆さん、ありがとうございました。



ビンゴに沢山の子どもたちが集まりました

インドネシア人の組合員が
6人も参加、助かりました南池袋
分会

新井睦子 教宣部員

6月8日(日)10時より雑司が谷公園こどもひろばで開催しました。梅雨入り間近で心配したお天気も、曇り空で暑くなり過ぎず丁度よかったです。

来場者数は140人、包丁砥ぎは76丁、住宅相談は3件で、家の耐震やリフォームなどの相談でした。

受付終了近くに「包丁砥ぎやってたのね」と残念そうに声を掛けられたり、「毎月やるの」と聞かれたりしました。催し物は、木工、モザイクタイル、コップタイ、ストラックアウトでした。こちらも受付終了近くに、「これから10人位連れて来たいんだけど」と声をかけられましたが、残念ながらお断りしました。

参加者は家族も含めて29人でした。年配者が多い中、分会所属の会社から、若い世代のインドネシア人の組合員が6人参加してくれて助かりました。

終了後の打ち上げで、諸事情で焼きそば販売は中止していましたが、「やはり食べるものがないと寂しい、来年はぜひ焼きそばを復活したい」と分会長から意見がありました。「もっと子供たちが来てくれるよう、組合員が参加しているプレーパークと同じ日が良いね」という、来年に向けての活発な意見もありました。



和気あいあいと対応する受付スタッフ

女性の会平和のつどい

平和の尊さを語り継ぐ
「ピースミュージアム」を訪問

6月22日(日)、女性の会が主催する毎年恒例の「平和の集い」に参加し、埼玉ピースミュージアムを訪れました。平和の大切さ、命の尊さを学ぶための貴重な1日でした。

館内の展示品の中の1枚の写真に釘付けになりました。上半身裸で整列している子供たちのほとんどが、肋骨がはっきり現れた状態まで痩せてこけていたのです。どんなにお腹を空かせていたことか。戦争ほど悲惨で愚かなものはありません。再び過ちを繰り返すことのないよう国民学校の教室で空襲の疑似体験や映画上映などを開催しています。

午後からの映画会「世界ウルルン滞在記」は涙なしには鑑賞できませんでした。世界のあちこちで起きている国際間の紛争に巻き込まれ、心も体も深く傷ついてしまった子供たち。遠く祖国を離れドイツ国際平和村で痛みに耐えながら治療を続けます。

「もう争いは止めて、命を奪わないで」、子供たちの悲痛な叫びが聞こえてきます。

大人たちの勝手な理由で犯した罪の深さに言い様の無い怒りと悲しみを覚えます。

日本もかつて国が犯した先の大戦で多くの人々の尊い命を犠牲にしてしまった事は事実です。真実としっかり向き合わなければ平和は守れません。皆さんもぜひ一度、資料館を訪ねてください。平和の尊さを次世代に語り継いでいくために必見です。

間辺美恵子 通信員



実寸サイズの教室で戦時教育の映像を鑑賞

2025年7月5・6日

分会経験交流集会IN磯部ガーデン

全都から分会の活動家が集まる分会経験交流集会に参加してきました。今回は椎名町分会がピックアップされました。テーマは全世代での分会行動でした。二か月にわたる密着取材で改めて分会活動の難しさと感じました。新たな活動家を発掘、育てていく難しさは改めて感じた一方、住宅デーなどは成功体験としてアピールすることができました。

他分会の経験報告を聞いて感じたことは、声掛けの重要さでした。なかなか若手が参加してくれないのはどこも一緒で、そこで声をかけるかどうかが決定的な差を生むことでした。報告のあった各支部の話を聞くと、近い世代や後継者世代を中心に声掛けし、組合活動に来てもらうことで東京土建を知ってもらう。いろんな話をする中で仲間意識ができて、次につながるという実体験が報告されました。

分散会では、より細かい話が聞けて今後の参考になりました。夕食の交流会を含め、他支部の仲間というんな話ができてとても有意義な時間でした。

個人的には土建の中で最も魅力的な会議なのでいろんな人に参加してもらいたいし、自分もまた参加したいと思いました。

田中承宏 教宣部員



壇上で報告する豊島支部のなかま